



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社 サンゲツ

上場取引所 東名

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	37,864	16.3	1,323	35.2	1,568	31.6	965	46.8
29年3月期第1四半期	32,549	2.4	2,041	7.2	2,292	1.2	1,815	13.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 918百万円 ( 30.4%) 29年3月期第1四半期 1,318百万円 ( 27.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	14.50	14.48
29年3月期第1四半期	26.79	26.76

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	158,662	106,960	67.4
29年3月期	163,717	108,892	66.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 106,883百万円 29年3月期 108,805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		25.00		27.50	52.50
30年3月期					
30年3月期(予想)		27.50		27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	15.4	2,600	26.9	2,900	26.9	2,000	30.3	29.83
通期	156,000	15.0	7,600	0.4	8,100	3.2	5,500	16.3	82.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	67,400,000 株	29年3月期	68,070,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	880,177 株	29年3月期	1,032,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	66,576,703 株	29年3月期1Q	67,747,228 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成29年4月1日～6月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかし、地政学的リスクや金融政策の変動が経済に及ぼす影響など、先行きには依然留意する必要があります。

当社事業に関連の深い住宅市場は、住宅ローンの低金利水準の継続や、各種住宅取得支援策の効果により、全体としては底堅く推移しました。一方、商業施設やオフィス、医療、宿泊施設等の非住宅市場は、分野により明暗あるものの、宿泊施設・ホテル分野においてはオリンピックにむけた需要拡大等もあり、底堅く伸ばしています。

このような状況のもと、当社グループは2017年5月に中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」を発表しました。「PLG 2019」では、「連結経営による機能強化」を重要な基本方針の一つとしており、その一環として、本年4月より米国子会社Koroseal Interior Products Holdings, Inc.の業績を連結対象とし、新たなセグメントとして「海外事業」を加えました。中期経営計画の着実な実行により、日本のみならず海外を含む幅広い市場を見据え、成長に向けた施策を実行していきます。

当第1四半期の連結業績は、前期に買収したKoroseal Interior Products Holdings, Inc.及び子会社化したフェアートン株式会社の業績を新たに連結対象としたことにより、売上高と販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。しかしながら、新規連結先の影響だけでなく、既存事業のインテリア事業においても、物流拠点の新設や統廃合、基幹システムの再構築準備、人件費や輸配送コストの上昇などにより、販売費及び一般管理費が増加しております。また、当第1四半期末現在において、Koroseal Interior Products Holdings, Inc.の買収時における資産及び負債の時価算定等が終了していないため、当第1四半期では暫定評価によるのれん金額に基づき、のれん償却額を計上しております。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、売上高37,864百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益1,323百万円(同35.2%減)、経常利益1,568百万円(同31.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は965百万円(同46.8%減)となりました。

前述のとおり、当第1四半期より、報告セグメントを以下のとおり4区分に変更しております。

(インテリア事業)

壁装事業では、ホテルやオフィスなど非住宅向けの見本帳「FAITH」において、同分野に特化した営業部門との連携により、市場への浸透が進んだことから、売上が拡大しました。また、展示会への出展や壁紙デザインアワードの開催など、暮らしの中でインテリアを楽しむ、“Joy of Design”に繋がる情報発信も継続しました。この結果、壁装材の売上高は14,183百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

床材事業では、非住宅向けの床材見本帳「Sフロア」に収録している「永久ワックスフリー」商品が、長期使用やメンテナンス性を求めるニーズにマッチし、伸ばしました。また、ホテルの改修需要における特注カーペットの納品が進んだほか、賃貸住宅市場においては、フロアタイルの採用が好調を維持し、売上が牽引しました。この結果、床材の売上高は10,189百万円(同4.0%増)となりました。

ファブリック事業では、カーテン専門の販売会社として株式会社サンゲツヴォーヌを4月に設立、5月より営業を開始し、主に住宅市場のカーテン分野において、より付加価値の高い提案・販売サービスをお届けする体制の構築を進めています。カーテンでは、住宅向けカーテンは苦戦しましたが、堅調に推移する非住宅市場への営業強化により、コントラクト施設向けカーテン見

本帳「コントラクトカーテン」が伸長しました。また、専門特化した営業体制に組織変更をした椅子生地は前年増に転じました。この結果、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は1,831百万円（同1.6%増）となりました。

これらの他、施工体制を担うフェアートン株式会社の業績、施工代などを含むその他の売上2,793百万円（同14.1%増）を加え、インテリア事業における売上高は28,998百万円（同4.5%増）、営業利益は1,277百万円（同32.8%減）となりました。

（エクステリア事業）

株式会社サングリーンが担うエクステリア事業においては、営業体制の再構築と工事力の強化に加え、高付加価値商品の拡販に努めました。エクステリア市場では、ガーデンルームや人工木デッキといった空間デザインの商品が増加しています。さらに、新築住宅着工数の伸び悩みが見込まれる中で、既存住宅のリノベーション需要も高まっており、防犯や安全機能を持った門扉やフェンスなど、「便利さ」「快適さ」に繋がる商品の拡充に努めました。この結果、エクステリア事業における売上高は3,814百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は121百万円（同10.0%増）となりました。

（照明器具事業）

山田照明株式会社が担う照明器具事業においては、サンゲツとの連携により、施主や大手設計への組織的な営業活動を強化するなど、シナジーを高めるビジネスモデルの構築に努めています。その中で、重点戦略市場である非住宅市場では、宿泊施設やホテルの新築・改修等が活況を呈する一方、首都圏の大規模オフィス供給をはじめとする大型物件は端境期となり、当第1四半期は厳しい市場環境となりました。この結果、照明器具事業における売上高は741百万円（前年同期比31.0%減）、営業損失は77百万円（前年同期は営業利益28百万円）となりました。

（海外事業）

当第1四半期より新たなセグメントに加わった海外事業では、主な売り上げを占めるKoroseal Interior Products Holdings, Inc. が市況の伸びを受け堅調に推移しております。なお、前述のとおり、当第1四半期では暫定評価によるのれん償却額を計上しております。一方、中国で事業を行う現地法人山月堂（上海）装飾有限公司においては、5種類のオリジナル壁紙カタログを軸に、商品を現地在庫し、積極的な拡販に努めています。この結果、海外事業における売上高は4,366百万円、営業利益は4百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べて5,055百万円減少し、158,662百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて1,931百万円減少して106,960百万円となり、自己資本比率は67.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表のとおりで変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成29年 6 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,945	21,880
受取手形及び売掛金	40,186	37,656
電子記録債権	8,305	9,077
有価証券	1,800	1,315
商品及び製品	13,797	15,359
仕掛品	232	257
原材料及び貯蔵品	3,417	3,754
その他	2,814	2,006
貸倒引当金	△300	△295
流動資産合計	96,200	91,012
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,494	19,494
その他 (純額)	15,608	15,799
有形固定資産合計	35,103	35,294
無形固定資産		
のれん	10,929	10,086
その他	2,555	2,622
無形固定資産合計	13,484	12,709
投資その他の資産		
投資有価証券	11,583	12,519
その他	7,535	7,303
貸倒引当金	△190	△176
投資その他の資産合計	18,928	19,646
固定資産合計	67,517	67,649
資産合計	163,717	158,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成29年 6 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,741	14,187
電子記録債務	8,169	8,441
短期借入金	489	566
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	1,882	347
賞与引当金	1,385	847
資産除去債務	267	424
その他	5,141	4,674
流動負債合計	32,578	29,990
固定負債		
長期借入金	12,719	12,450
役員退職慰労引当金	98	100
退職給付に係る負債	7,683	7,617
資産除去債務	410	411
長期未払金	256	126
その他	1,079	1,005
固定負債合計	22,247	21,711
負債合計	54,825	51,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	77,177	74,993
自己株式	△2,023	△1,714
株主資本合計	108,775	106,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,000	2,450
繰延ヘッジ損益	30	51
為替換算調整勘定	△256	△850
退職給付に係る調整累計額	△1,745	△1,668
その他の包括利益累計額合計	29	△17
新株予約権	87	77
純資産合計	108,892	106,960
負債純資産合計	163,717	158,662

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

( 四半期連結損益計算書 )

( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日 )
売上高	32,549	37,864
売上原価	22,842	26,209
売上総利益	9,707	11,654
販売費及び一般管理費	7,665	10,331
営業利益	2,041	1,323
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	67	61
不動産賃貸料	21	1
持分法による投資利益	100	143
その他	72	57
営業外収益合計	263	271
営業外費用		
支払利息	0	13
手形売却損	0	0
自己株式取得費用	7	2
その他	3	9
営業外費用合計	12	26
経常利益	2,292	1,568
特別利益		
固定資産売却益	—	0
退職給付制度終了益	108	—
特別利益合計	108	0
特別損失		
固定資産除却損	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	2,399	1,565
法人税、住民税及び事業税	463	376
法人税等調整額	120	223
法人税等合計	584	600
四半期純利益	1,815	965
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,815	965



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
四半期純利益	1,815	965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△786	448
繰延ヘッジ損益	—	20
為替換算調整勘定	—	△590
退職給付に係る調整額	283	76
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△2
その他の包括利益合計	△496	△47
四半期包括利益	1,318	918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,318	918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	27,745	3,736	1,067	—	—	32,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	6	—	△6	—
計	27,745	3,736	1,073	—	△6	32,549
セグメント利益	1,902	110	28	—	△0	2,041

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	28,940	3,814	741	4,366	—	37,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	—	—	—	△57	—
計	28,998	3,814	741	4,366	△57	37,864
セグメント利益又は 損失 (△)	1,277	121	△77	4	△2	1,323

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インテリア事業」、「エクステリア事業」及び「照明器具事業」の3区分から、「インテリア事業」、「エクステリア事業」、「照明器具事業」及び「海外事業」の4区分に変更しております。

これは、中期経営計画 (2017-2019) 「PLG 2019」の事業戦略において、海外を重点注力市場と位置付けて連結経営管理することとしたため、平成28年11月に買収したKoroseal Interior Products Holdings, Inc. 及び平成28年4月に設立した山月堂 (上海) 装飾有限公司を「海外事業」セグメントとして区分したものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。